



## 陽光とかがやくみらいっ子

ニュースを観ると、大谷翔平選手が様々なすごい賞を受賞した報道をよく目にするこの頃です。大谷選手は、世界を代表する野球選手です。彼は、野球に関する技術面だけを追求したわけではありません。「自分がどんな人間であるか」を大事にしています。まわりの人と関わり方が、自分自身の人間性や運を高めていくものとして、重要視し、心がけています。

菊陽町では「陽光（さん）とかがやくみらいっ子マップ」による子育てを展開しています。たとえ、大谷選手のように世界で活躍するスーパースターになれなくても、家庭や地域で、まわりの人と豊かに繋がり、笑顔いっぱいに暮らし、愛し愛されて、幸せに生きる。そんな未来の姿もすてきな夢の実現のあり方ではないでしょうか。

このマップは、菊陽町のホームページからも見ることができます。  
<https://www.town.kikuyo.lg.jp/kiji0033392/index.html>

想性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を使う	道	審判さんへの態度
礼儀	信頼される人間	連續性	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

<マンダラチャートの一部より>



和  
氣  
香  
風

## 書くこと（言葉）にこだわる授業づくり～3年生研究授業から～

12月10日、3年生の研究授業を通して、授業づくりの職員研修を行いました。

本校では、自分の考えを表現できる児童の育成を目指して、**書くことにこだわる授業づくり**を展開しています。文科省を中心に、いま、このことの重要性が強く述べられているところです。今回、3年生では、言葉にこだわり、情報や考えをインプットするだけでなく、アウトプットすることで、確かな力を身に着けていく授業づくりを進め、壽藤教諭が提案してくれました。

3年生の子どもたちが、しっかりととした読みをもとに、自分の考えを精力的に書き、発表する姿がとても輝いていて、何度も何度もカメラのシャッターを切ってしまうほどでした。



## 長縄8の字跳びへの挑戦～一致団結して～

今、子どもたちは長縄をがんばっています。これは、菊池郡の小学校みんなが、「8の字跳びに挑戦しよう。」という取組で、3分間で跳んだ回数を競います。

現在、一番熱中して、ハマって練習しているのは5年生です。ここ数日で、60回代、80回代、そして130回代と、どんどん記録を伸ばしています。

「跳ぶのが苦手だった人も、みんな跳べるようになりました。」と話してくれるその笑顔を見られるのが嬉しくて。

さらに、記録更新の度に、みんなで校長室にやってきて、キラキラした目と表情で新記録を報告してくれます。私は、そこにいるみんなとハイタッチをして喜んでいます。

子どもたちが、長縄という一つのチャレンジを通して、学級全体で一致団結し、楽しんでいる姿が本当に嬉しくて、嬉しくて。

